

政策シート

(政策名) 消防施設の最適化、人材育成の充実

(予算費目名) 消防総務費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり

◇政策の概要

複雑化、大規模化する災害に対し、迅速的確に対応できる消防・救急体制を構築するため、消防庁舎の計画的な建設や整備を実施し、教育訓練等による職員の知識及び技術の向上を図る。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	400,530	325,590
決算	382,766	
人件費(A)	117,000	120,600
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	499,766	446,190

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
研修受講職員数	人	893	目標	893	891
			実績	861	
維持管理する消防庁舎数	施設	26	目標	27	27
			実績	27	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

複雑化・大規模化する災害に対し、迅速的確に対応できる消防・救急体制を構築するため、消防庁舎の計画的な建設や整備を実施し、教育訓練等による職員の知識及び技術の向上を図る。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・ 職員の要望を踏まえ消防行政に関する法律問題等、様々な階層別研修を実施し861人が受講した。
- ・ 消防庁舎27施設を適正に維持管理し、防災拠点としての機能維持を図った。目標値の26施設を達成するため施設の統合に向け新庁舎建設用地を購入した。(契約額 15,675千円)

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	消防総務管理事業			○		100,778	79,778	3.0				
2	消防音楽隊活動事業					5,909	2,709	0.2	0.5			
3	消防庁舎運営事業		○	○		246,598	233,898	1.3	1.0			
4	消防総務運営経費					92,905	9,205	10.5	0.5		3.0	
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						446,190	325,590	15.0	2.0		3.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 消防総務管理事業

◇事業目的・事業対象

- ・消防職員の人材育成のため、研修及び派遣を行い、市民の生命、身体、財産を災害から防除するための知識及び技術の向上を図る。
- ・災害活動上の安全の確保及び機動性を向上できる被服の充実を図る。

◇事業の概要

- ・消防企画・人材育成事業
専門知識及び先進技術の習得による能力向上のため、職員を消防大学校や県消防学校等へ派遣する。都市間の情報交換及び実務を通じた職員の能力向上を図るため、総務省消防庁、全国消防長会、消防大学校へ派遣する。
階級、補職ごとに必要とされる知識や技術の向上を図るため研修を行う。
消防業務に必要な資格の取得を行う。
- ・消防職員被服整備事業
消防隊、救急隊、救助隊等の職務遂行上必要な被服等を貸与する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S34	-	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	85,764	79,778
	決算	84,266	
	国・県支出		1,094
	市債		
	その他	973	
	一般財源	83,293	78,684
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		21,000	21,000
人工	正規	3.0	3.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
研修受講職員数					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	893	891	891		893
実績値	861				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・消防企画・人材育成事業
 専門知識及び先進技術の習得による能力向上のため、職員を消防大学校や県消防学校等へ派遣した。都市間の情報交換及び実務を通じた職員の能力向上を図るため、職員を総務省消防庁、全国消防長会、消防大学校へ派遣した。
 階級、補職ごとに必要とされる知識や技術の向上を図るため研修を行った。
 消防業務に必要な資格の取得を支援した。

・消防職員被服整備事業
 消防隊、救急隊、救助隊等の職務遂行上必要な被服等を貸与した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・消防企画・人材育成事業
 職員の要望を踏まえ消防行政に関する法律問題等、様々な階層別研修を実施し861人が受講した。消防大学校および消防学校へ職員を派遣し、消防の責務を再認識させるとともに、技術と知識の習得を図った。消防大学校派遣者のうち一部の者に局内研修の講師を依頼することで、学んだ技術と知識を組織に反映させる機会を設けた。

・消防職員被服整備事業
 消防職員がより安全かつ、迅速に活動できるよう被服を整備した。(60,988千円)

・事業の改善と見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

【改善:収集・分析】
 ・消防行政の実態に即応した研修内容への見直しを行うため消防大学校での講義内容の分析を行った。
 ・階層別研修では、対象職員からヒアリングを行い、職員が求める内容を追加した研修に改善した。
 ・消防職員人材育成基本方針を改定するため、政令指定都市を初めとした消防本部から情報収集し検討を行った。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

【改善:その他】消防大学校や静岡県消防学校等へ職員を派遣することで消防行政をとりまく環境の変化に対応した人材の育成を図る。特に女性消防吏員のキャリア形成の支援を目的とした実務講習へ積極的に職員を派遣していく。
 ・複雑化・多様化する災害への対応力確保及び消防業務の高度化・専門化に対応できる人材の育成を目的に、消防職員人材育成基本方針を改定する。
 【事業費:縮小】新規採用職員見込数の減少により被服整備に要する事業費の縮小が見込まれる。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 消防音楽隊活動事業

◇事業目的・事業対象

消防音楽隊の演奏活動を通じて、消防広報を行うことにより、多くの市民に防火、防災思想の普及啓発を図る。

◇事業の概要

消防音楽隊は、昭和45年に県下初の公設音楽隊として発足し、市が主催する式典を始め、市内の行事へ参加し、演奏に併せ、市民の防火・防災意識の啓発を図ることを目的に活動している。消防吏員22人、非常勤職員11人の33人で編成している。

- ・演奏活動
 - 消防出初式などの各種消防の行事で演奏をする。
 - 戦没者追悼平和記念式や学校行事などの市の行事で演奏をする。
 - 浜松まつりやプロムナードコンサートなどの公共団体の行事で演奏をする。
- ・消防広報活動
 - 式典や行事などへ積極的に参加し、広報紙、パネル等により防火、防災意識の啓発を図る。
- ・研修
 - 外部講師招聘による、演奏及び演技技術の向上を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S45	-	一般会計	自治事務(法令義務)	浜松市消防音楽隊規程	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	2,954	2,709
	決算	2,739	
	国・県支出		
	市債		
	その他		144
	一般財源	2,739	2,565
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		2,800	3,200
人工	正規	0.4	0.2
	再任用(h31)		0.5
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
派遣演奏集客数					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	300,000	300,000	300,000		300,000
実績値	303,653				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

市内の行事へ参加し、演奏に併せ、市民の防火・防災意識の啓発を図ることを目的に演奏活動等を実施した。平成27年度は、消防吏員22人、非常勤職員12人の34人で編成し、派遣演奏実績は、演奏回数42回、集客数303,653人であった。

・演奏活動

消防出初式、各種消防イベント等の消防の行事
戦没者追悼平和祈念式、学校行事等の市の行事
浜松まつり、プロムナードコンサート等の公共団体の行事

・消防広報活動

演奏会へ積極的に参加し、熱中症対策の広報紙や、通電火災防止のためのパネルなどを活用し防火、防災意識の啓発を図った。

・研修

外部講師を招聘し、演奏及び演技技術の向上のための研修並びに広報能力向上のための研修を実施した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・年間派遣演奏回数42回

・消防広報活動の実施、42回の派遣中303,653人に対し消防広報を行った。

音楽隊紹介	13回	幼年期防災教育	4回	火災の予防について	3回
熱中症対策	3回	心肺蘇生法	3回	消火器の使用方法	2回
防災三助論	2回	浜松市PR	2回	防災製品の紹介	1回
救急車適性利用	1回	住宅用火災警報器の紹介	1回	飲酒アルコールの対処法	1回
緊急車両通行権	1回	消防団紹介	1回	火災時の避難方法	1回
家庭内DIG	1回	コンセント火災について	1回	地震時の通電火災の防止	1回

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

【改善:ICT化】効率的な広報を実施するためフェイスブックの開設(リーチ数8,696、いいね数最高144)など新たな広報活動を行った。

【改善:その他】訓練計画を派遣内容に応じたものに見直し効率的な事業運営に努めた。派遣演奏では、より効果的な広報を実施するため、パネルを作成し視覚的な広報活動を実施した。

・職員の広報能力向上のため、外部講師を招聘して研修を実施した。研修の成果を活かし伝わる広報を心掛けた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

【改善:その他】国の施策に則り、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化」、「女性の更なる活躍の推進」、「大規模イベント(伊勢志摩サミット等)の開催に向けた大都市等の安心安全対策の推進」等の情報を、音楽隊活動と共に浜松市ホームページやフェイスブックなどを利用し、幅広く情報発信を行う。職員の広報能力を向上させるため、継続的に外部講師を招聘し、隊の広報部門を担当する企画担当者の積極的な参画を促す。

【改善:財源創出】主催の演奏会で広告収入を得ていく。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 消防庁舎運営事業

◇事業目的・事業対象

火災等の災害から市民の生命、身体、財産を守るため、消防庁舎の整備、充実を図る。

◇事業の概要

- ・消防庁舎運営維持管理事業
災害発生時の防災拠点として消防庁舎を適正に維持管理する。
 - ・消防庁舎整備事業
消防庁舎を適正に維持管理していくために、改修工事等を実施する。
- 【重点戦略項目No.98】
- ・東南部地域出張所建設事業
消防、救急需要の変化に対応し、均衡の取れた署所配置を実施するため、市東南部に救急車を配備した新たな出張所を整備する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	-	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	301,601	233,898
	決算	286,834	
	国・県支出		
	市債	26,900	41,500
	その他	20,734	750
	一般財源	239,200	191,648
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		9,100	12,700
人工	正規	1.3	1.3
	再任用(h31)		1.0
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
維持管理する消防施設の数				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	27	27	27		26
実績値	27				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
東南部地域出張所建設事業					98
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	40	60	100		100
実績値	40				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・消防庁舎運営維持管理事業
災害発生時の防災拠点として消防庁舎を適正に維持管理した。
- ・消防庁舎整備事業
消防庁舎を適正に維持管理していくために、改修工事等を実施した。
- 【重点戦略項目No.98】
- ・東南部地域出張所建設事業
消防、救急需要の変化に対応し、均衡の取れた署所配置を実施するため、市東南部に救急車を配備した新たな出張所整備を進めた。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・消防庁舎運営維持管理事業
消防庁舎27施設を適正に維持管理し、防災拠点としての機能維持を図った。
東消防署ガス給湯器取替修繕工事 他 10,398千円
天竜消防署春野出張所ホース塔改修工事 他 9,975千円
- ・消防庁舎整備事業
老朽化等した消防庁舎の設備等の改修・整備工事を行った。
消防局ガスタービン発電設備改修工事 78,300千円
南消防署白脇出張所救急消毒室設置工事 14,053千円
- ・(新規)市東南部出張所建設事業
新庁舎建設用地を購入した。契約額 15,675千円

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 【改善:収集・分析】消防署所をはじめとする消防力の整備について、本市の将来人口の減少等の社会環境を分析し、効果的・効率的な消防体制について検討した。
- 【事業費:拡大】老朽化等した消防庁舎の設備等の改修・整備工事を行ったため、事業費が前年度と比べ増額となった。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 【改善:統合・再構築】市東南部地域のより効果的な消防救急体制を実現するため、芳川出張所と飯田出張所を統廃合し市東南部出張所建設事業に伴う設計及び地質調査等を行う。
- 【改善:その他】浜松市公共施設等総合管理計画や、人口減少等の社会環境の変化に対応した消防署所配置を策定する。
- 【人工:拡大】建設工事等に伴い専門的知識を有する再任用職員を配置するため人工の増加が見込まれる。

・事業の分類

大分類 細分類

平成28年度

(管理番号)
03 05 01 01 03101000 03

(担当課)
消防総務課

(責任者)
鈴木政彦

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 消防庁舎運営事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
98	土地測量 土地鑑定 用地交渉 用地取得	基本、実施設計 地質調査 造成工事	造成工事 建設工事	運用開始

事業シート (事業名) 消防総務運営経費

◇事業目的・事業対象

国、県及び全国消防長会等で主催する会議、研修会への出席を通じ、最新の消防情勢や消防諸課題への取り組みなど、広い分野で有益な情報を本市へ還元し、消防行政の円滑な推進を図る。

◇事業の概要

・会議、研修会等

大都市消防長会議、大都市総務担当部課長会議、全国消防防災主管課長会議
 全国消防長会議:総会(理事)、役員会(理事)、財政委員会(副委員長)、予防委員会(参与)
 全国消防長会関東支部会議:総会(理事)、役員会(理事)
 静岡県消防長会議:定例会(副会長)
 静岡県西部地区消防長会議:定例会(会長)、研修会(会長)
 三遠南信地域消防連絡会:定例会
 県際消防連絡会:定例会、訓練

・職員派遣

静岡県消防学校:教官、静岡県消防防災航空隊:副隊長

・消防局運営経費

緊急消防援助隊活動費、消防訓練賠償責任保険等

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S25	-	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	10,211	9,205
	決算	8,927	
	国・県支出		767
	市債		
	その他	291	1
	一般財源	8,636	8,437
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		84,100	83,700
人工	正規	10.3	10.5
	再任用(h31)	1.0	0.5
	再任用(h26)		
	非常勤	3.0	3.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

<p>・会議、研修会等 大都市消防長会議、大都市総務担当部課長会議、全国消防防災主管課長会議 全国消防長会議：総会(理事)、役員会(理事)、財政委員会(副委員長)、予防委員会(参与) 全国消防長会関東支部会議：総会(理事)、役員会(理事) 静岡県消防長会議：定例会(副会長) 静岡県西部地区消防長会議：定例会(会長)、研修会(会長) 三遠南信地域消防連絡会：定例会 県際消防連絡会：定例会、訓練</p> <p>・職員派遣 静岡県消防学校：教官、静岡県消防防災航空隊：副隊長</p> <p>・消防局運営経費 緊急消防援助隊活動費、消防訓練賠償責任保険等</p>
--

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度 <input type="text" value="計画通り"/></p> <p>・全国消防長会財政委員会の副委員長に就任した。 ・最新の消防情勢や諸問題について検討する会議や研修会に参画することで、本市の消防行政における有益な情報を得ることができた。 ・静岡県内で初の開催となる全国消防長会総会を開催した。</p>

・事業の改善と見直し

<p>実施結果 大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text" value="-"/> / <input type="text" value=""/> 事業費 <input type="text" value="拡大"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <p>【大項目：現状】会議及び研修会への参画は、本市消防行政の発展に有益であった。 【事業費：拡大】全国消防長会総会を開催したことで、事業費が前年度に比べ増額した。</p>
<p>今後の方向性 大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text" value=""/> / <input type="text" value=""/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <p>【大項目：現状】会議及び研修会への参画は、本市消防行政の発展に有益であるため継続していく。</p>

・事業の分類

<p>大分類 <input type="text" value="管理・監視"/> 細分類 <input type="text" value="人事管理"/></p>
